

報道関係者各位

IQVIA ジャパン トップライン市場データ

<2020 年会計年および 2021 年第 1 四半期>

**2020 年会計年の日本医療用医薬品市場は、前年比 2.7%減で
10 兆 3,475 億 65 百万円。6 年連続の 10 兆円超（薬価ベース）**

- 2020 年会計年（20 年 4 月－21 年 3 月）：10 兆 3,475 億 65 百万円（2.7%減）
- 2021 年第 1 四半期（21 年 1 月－3 月）：2 兆 4,673 億 42 百万円（1.0%減）
 - **2020 年会計年**の市場別では、「病院（病床 100 床以上）」4 兆 7,279 億 38 百万円（前年度比 1.3%減）、「開業医（病床 100 床未満）」1 兆 9,916 億 80 百万円（同 5.7%減）、「薬局その他」3 兆 6,279 億 47 百万円（同 2.6%減）
 - **2021 年第 1 四半期**の市場別では「病院」1 兆 1,299 億 08 百万円（1.6%増）、「開業医」4,604 億 05 百万円（同 4.8%減）、「薬局その他」8,770 億 29 百万円（同 2.1%減）

IQVIA ジャパン グループ（本社：東京都港区、会長：湊方彦）は、2020 年会計年（20 年 4 月－21 年 3 月）と、2021 年第 1 四半期（21 年 1 月－年 3 月）の日本医療用医薬品市場（薬価ベース）を、「IQVIA ジャパン トップライン市場データ」として 2021 年 5 月 20 日に発表しました。

IQVIA ジャパン グループでは、日本のヘルスケア産業の発展と透明性の創造、および社会の皆様に日本のヘルスケア市場についての理解を深めていただくため、市場規模や薬効、製薬企業および医薬品の売上、処方、疾病に関するトップラインデータをメディアや医療・医学の研究に携わっている学術研究機関へご提供しています。当社はトップラインデータの開示により皆様と情報の共有化を図ることで、日本のヘルスケアの発展への貢献を目指しています。

【2020 年会計年（20 年 4 月－21 年 3 月）】日本医療用医薬品市場トピックは以下の通りです。

- 売上げ市場別では、会計年で「病院」「開業医」「薬局その他」3 市場全て前年減になるのは 2016 年会計年以来 4 年ぶり。開業医市場が 2 兆円を下回るのは 2005 年以降初めて。
- 売上げ上位 10 薬効*のランキングは前年と全く同じ。2 年連続前年同一ランキングは、2007 年会計年以来 13 年ぶり。
- 売上げ上位 10 薬効のうち、「L01 抗腫瘍剤」（1 兆 5,186 億 83 百万円・5.1%増）が売上額と前年比共にトップ。2 位「A10 糖尿病治療剤」（6,105 億 63 百万円・4.4%増）、3 位「L04 免疫抑制剤」（4,786 億 16 百万円・3.4%増）と続く。
- 売上げ上位 20 社（販促会社レベル**）では、武田薬品工業（5,162 億 35 百万円・2.9%増）が 2010 年会計年以来 10 年ぶりにトップへ。昨年度トップで今年度 11 位のファイザー（2,743 億 32 百万円・0.2%減）から 20 年 11 月分社化したヴィアトリス製薬（2,241 億 64 百万円・22.7%減）が 15 位でランクイン。売上げ上位 20 社への新たなランクインは同 1 社のみ。
- 売上げ上位 10 製品では、トップに立ったキイトルーダ（1,182 億 69 百万円・12.9%減）をはじめ、抗腫瘍剤 4 製品が上位 5 製品を占める。前年比の増減は 2 位のオプジーボ（1,128 億 70 百万円・14.7%増）が最も高く、4 位のアバスチン（1,005 億 00 百万円・14.7%減）が最も低い。

【2021 年第 1 四半期（1 月－3 月）】日本医療用医薬品市場トピックは以下の通りです。

- 売上げ市場別では、「病院」市場のプラス成長は、2020 年第 1 四半期（4.3%増）以来 4 期ぶり。1 兆円台の市場規模は、2015 年第 2 四半期以降続く。
- 売上げ上位 10 薬効のうち、前年比で新たな薬効の入れ替わりはなかった。トップ「L01 抗腫瘍剤」（3,797 億 07 百万円・9.8%増）、2 位「A10 糖尿病治療剤」（1,440 億 60 百万円・3.9%増）、3 位「L04 免疫抑制剤」（1,175 億 76 百万円・6.1%増）の 3 薬効は順位も前年同。前年比の増減は「L01 抗腫瘍剤」が最も高く、10 位「C10 脂質調整剤及び動脈硬化用剤」（615 億 27 百万円・12.2%減）が最も低い。
- 売上げ上位 10 製品では、新たにランクインしたのは 2 剤の眼科用薬剤で、5 位のアレジオンサンテン（228 億 44 百万円・46.2%増）、9 位アイリーア（198 億 53 百万円・9.3%増）。それ以外の 8 製品の顔ぶれは前年同で、1 位キイトルーダ（305 億 13 百万円・5.6%減）と 10 位アジルバ（196 億 22 百万円・7.1%増）は順位も前年同。

* IQVIA ジャパン 「日本医薬品市場統計」における「薬効」は ATC 分類に準拠しています。

本項の「ATC 分類（Anatomical Therapeutic Chemical Classification）は、EphMRA（European Pharmaceutical Market Research Association：欧州医薬品市場調査協会）により管理されている、アナトミカル薬効分類（作用部位別薬効分類）に準じており、日本医薬品市場統計作成にあたっては、定期的に最新最適状態に見直しを図っています。

****IQVIA ジャパン 「日本医薬品市場統計」における「販売会社レベル」と「販促会社レベル」の定義は以下の通りです。**

- 販売会社レベル：卸店に対して製品を販売し、その代金を回収する機能を持つ製薬企業
- 販促会社レベル：MR による情報提供活動を通じて販促活動を行なっている製薬企業

IQVIA について

IQVIA (NYSE:IQV) は、先進的かつ高度な分析力と機能、革新的テクノロジー、および臨床試験サービスをライフサイエンス業界の皆さまへ提供する世界的なリーディング企業です。IMS Health と Quintiles の統合により誕生した IQVIA は、ヒューマン・データ・サイエンス（分析の精緻さとデータサイエンスの明晰さを、拡大し続けるヒューマンサイエンスの領域に対し活用すること）を用いることにより、ヘルスケア企業の皆さまが臨床開発とコマーシャル領域におけるこれまでに無いアプローチを、新たなイマジネーションの下で発展させ、イノベーションを速め、ヘルスケア・アウトカムの改善をより一層加速させることを支援します。私たちの原動力である「IQVIA CORE™」によって、IQVIA は実務実行力を伴いながら、大規模な分析、革新的なテクノロジー、そしてスペシャリストによる幅広い専門知識、これらが交差する地点に、実用的且つ唯一無二のインサイトを提供しています。私たち IQVIA は現在、およそ 70,000 人が、世界 100 以上の国と地域で活動しています。

IQVIA は、患者の皆さまの個人情報保護の分野においても、世界をリードしています。医療関係者の皆さまが、疾患のパターンを特定し、より良いアウトカムの実現のために必要である明確な治療方針や治療法の関連づけに資する規模での情報を収集・分析すると同時に、様々なプライバシー保護のための技術や安全対策に取り組んでおります。IQVIA が持つインサイトや実務の実行力は、治療・治癒の実現に向かい尽力するバイオテクノロジー企業、医療機器メーカー、製薬企業、医学研究機関、政府機関、保険者やその他様々な医療関係者の皆さまによる疾患そのものや人間の行動、サイエンスの進歩に対する更なる理解の深耕を支援します。IQVIA の詳しい情報はこちら (www.iqvia.com) をご覧ください。

日本向けの URL はこちら (www.iqvia.co.jp)

本件に関するお問合せ先

IQVIA ジャパン グループ
広報マーケティング統括部
広報担当
Email jp.coms@iqvia.com